

## 東部日本語ボランティアネットワーク 第38回定例会議事録

2026年7月4日（土）三島本町タワー14:00～16:00

出席者（10名）：香川、石井、久木野、虎谷、山口、佐野（由）、伊藤、古橋、西村、相田

事前資料提出者（1名）：望月

○資料『お近くの日本語教室 各国語版』更新 （相田）

山口さんにかいわ会の情報も載せてもらえますか？というお話をいただいて、そういえば更新してなかったと思い、10年ぶりに更新しました。ぜひご利用ください。

従来の運用では、資料をプリントしようとする、各国語版資料をそのままプリントして配布するしかなかったです。今回は五点ほど変更しました。

・19ヶ国語に対応

対応言語は、私が今まで教室で必要になった言語を考慮して決めた後、石井さん、虎谷さんにご意見をいただいて追加しました。

・各国語版ページへのリンク用 QR コードに一本化して、web 閲覧前提の運用とする。

この運用にした理由は、

①19ヶ国語に対応し、それぞれプリントするのは現実的でない

②時代的にもペーパーレス

③使用者でスマホを持ってない人もいないと思われる

・従来通り各国語版をプリントすることもできる。(PDF あり)

・リンク用 QR コードもプリント可能(PDF あり A4 で8枚プリント可能)

これをスマホで表示し、使用者に直接見せてスキャンしてもらっても良い。(LINE 交換など不要)

・各国語版の資料の中に、別の QR コードを載せている。これは各教室の案内用ページへのリンク用 QR コードです。(表示するスマホと別のスマホでスキャンするなどして欲しい)

資料の内容、ページとも、見やすさなどについて意見があれば吸い上げて欲しい。また次回更新時には参考にする。

ちなみに沼津の教室では、新規入会者に合わせた言語版のプリントを渡す運用をしているが、言語ごとに分けてプリントする手間が結構な負荷になっていたと思われるので、この対応で使いやすくなると思っている。

○情報共有

西村（GGA 他）

・日本語学校では、「留学」での認定審査中。国の動きとして、育成就労の日本語教育が可能かどうか問う通知などが学校にきている。

・長泉町地域日本語教室 「にっち長泉」は、サポーター養成講座を終え、今年度、7月12日から10回の教室を実施。

オンライン教室試行も3回行う予定。

・三島市 「たのしくななそう にほんご DOJO in みしま」も、サポーター養成講座を終え、今年度、7月19日から12回の教室を実施。

イベント的な活動と組み合わせた対話交流型で学習者募集中。

## 2026年5、6月月活動報告

### 【日本語教室開催状況と結果】

| 開催日   | 学習者                                 | 支援ボランティア | その他                  | 参加者 | ブレイクタイム       |
|-------|-------------------------------------|----------|----------------------|-----|---------------|
| 5月10日 | 3名<br>中国人1名<br>ベトナム人2名              | 7名       | 3名<br>見学者1名<br>大学生2名 | 13名 | 端午の節句で新聞紙で兜作り |
| 5月24日 | 2名<br>中国人1名<br>インドネシア人1名            | 7名       | 1名<br>大学生1名          | 10名 |               |
| 6月7日  | 3名<br>中国人1名<br>ベトナム人1名<br>カメルーン人1名初 | 7名       | 3名<br>大学生3名          | 13名 | 初参加カメルーン人の歓迎会 |
| 6月21日 | 1名<br>ベトナム人1名初                      | 7名       |                      | 8名  |               |

### 【学習会のコメント】

＊初参加のカメルーン人女性Dさんは来日2カ月ほどで日本語は全く話せず、「あいうえお」の読み書きからの学習です。住所と名前を平仮名で書けるようになりました。

### 【その他の活動】

＊中郷近隣の工場において、現場が同国人のチームで業務する組織体制に変わっていると聞いた、チームで業務する組織では日本語のできるまとめ役の外国人が日本人管理者と業務の指示/報告をする。チームのメンバーは日本人と日本語の対話をする必要がなく、学ぶ動機が薄れている背景と考えられる。

＊学習者個人の事情等いくつかの事情があり参加学習者数が低迷している。これまで工場労働者に注目してきた広報活動を、他の業種特に介護施設、老人ホームなどの外国人労働者に視点を移す。

### 久木野（LINK、日本語話そう会）

日本語を習得希望の外国人の参加がほとんどなくなったこと、教習する日本人が不足することなどから、昨年度末（3月末）で、会を一時休止していました。其の後、日本語習得を希望する外国人が出てきたことなどから、7月から会を再開することになった。

新聞広告で、会の再開、日本人ボランティアを募集していることなどを報道してもらった。

毎週火曜日夜、菰山時代劇場で開催予定である。会場使用料などは、市のほうから免除対応を受けている。

## 山口（にほん語かいわ会）

### 活動報告

★毎週木曜日 19:00-21:00（大仁駅前まちすけ）

ボランティア 1～6 名含む 4 月以降は 20 名を超える状況です。（最大 25 名）

《新規参加者》

函南片岡建設、インドネシア技能実習生 1 名と社長夫人日本人ボランティア、アメリカ人ご夫婦宣教師 2 名（将来日本で布教活動）7 月 20 日まで。 、 蕨山ぶなの森ベトナム人技能実習 3 名、4 月春の遠足時に出会ったインドネシア語話したい三島在住の日本人ボランティア

★3 月インド中国ご夫妻岩手奥州市就職引っ越し 4 月ベトナム人大仁から東京大崎へ転勤引っ越し、7 月インド人インドへ治療と出産のため長期里帰り予定、アメリカ夫婦 7 月帰国（6 月初旬より奥さん体調不良、メキシコ人 9 月出産予定、2 月結婚したベトナム人 4 月出産 6 月初旬まで帰省来年にはみんなで日本に住む予定

★2027 年 N3 4 名、N2 1 名受験予定者あり。

インドネシアエンジニア普通自動車免許取得予定

★2 月節分、4 月虹の郷遠足 15 名参加、7 月七夕、8 月大仁花火大会、10 月月見、11 月芋掘り会 1 月餅つき予定

★毎月第 2 水曜日 12:00-14:30 各国ランチ

認知症カフェのレッツまちすけとコラボ企画 6 月終了

2 月ラオス、3 月シンガポール、4 月ボリビア、5 月インドネシア、6 月アメリカ終了 8 月花火大会時出店、不定期で年 1～3 回外国料理ランチ販売予定

★3 月自転車ルールについて説明会

★8 月 9 日伊豆の国市ボーイスカウトと流しそうめん交流会

★6 月伊豆の国市視察、日大先生、学生（ボランティア含めて）の視察、9 月再開予定

★2026 年度静岡県社協ふれあい基金助成金交付決定

## 望月（FAIR 日本語支援委員会 2026 年度活動計画） 事前メール

今年度の計画を送ります

①富士宮市在住、勤務している外国人（高校生以上）に日本語クラスを実施

一期 5, 6, 7 月 二期 9, 10, 11 月 三期 1, 2, 3 月 全 10 回ずつ 年 30 回

現在生徒は 15 名（インドネシア、ベトナム、中国、カナダ、アメリカ、ハワイ 等）

内容は日常会話、漢字のマスター N2, 3, 4 受験希望等目的は様々

支援者は退職教員、日本語教師経験者、FAIR 主催養成講座経験者等

②市内の小・中学校に在籍し、両親のどちらか、あるいは両方とも外国籍で、日本語に不自由している

（学校の学習についていけない）子どもたちへの日本語支援

現在支援している小・中学校の生徒 18 名（ベトナム、インドネシア、バングラディシュ、中国等）

週 1, 2 回 国語の授業に入る 担任との話し合いで取り出し支援もある（効果的な方法を選ぶ）

支援者は退職教員（資格があり、即戦力になる）か外国語堪能なボランティア等

今、現在も転入があり、支援希望があるが、支援者が不足で希望に添えない状態

これに対し、学校側や行政の早急な対策が望まれる（予算、人手、統一された支援のやり方や教材提供）

### 佐野由美子（裾野市海外友好協会）

新しい場所（市立鈴木図書館 3F）に移って3か月、コピーの有料化、収納場所の狭さ等少しの問題はありますが概ね順調に毎週日曜日の午前中に開催しています。日本語の学習と共に日本文化体験も時々やっています。5月には茶摘み体験を行いました。秋には生け花、正月には茶道体験を予定しています。

現在はスリランカ、タイ、ブラジル、フランス、スロバキア、スロベニア、インドネシア、ベトナムの学習者が毎回10名前後参加しています。

クラスは3つのレベルに分けて、総勢15名のスタッフが毎回3～4人出て対応しています。

### 石井（のびっこクラブみしま）

・土曜日の「のびっこクラブ」と学校訪問型「クラスぽよ」を開催。学習者はネパール出身者が、ボランティアは高校生が増加傾向。ダイレクト受験生も。

・2026年2月11日（水・祝）「静岡県日本語ボランティアセミナー」分科会Bにて、団体の活動内容を発表。

・5月29日（金）、市内で活動する5団体連名による「後期中等教育段階における海外ルーツの生徒への教育機会拡充を求める要望書」を、県教育長に提出。

・8月8日（土）13:30～15:00、ワークショップ「アニメのせかい」を開催する。申込み受付中。詳しくはのびっこ Facebook、Instagram 参照↓

<https://www.facebook.com/nobikko>

[https://www.instagram.com/nobikko\\_club\\_mishima/](https://www.instagram.com/nobikko_club_mishima/)

### 古橋（静岡県国際交流協会）

現在、対話交流型の日本語指導者養成講座を三島市で実施中。みなさん熱心に参加している。また、今年度の新事業として「アウトリーチ型オリエンテーション」に取り組む。入管の事業で外国人に日本の生活習慣を理解してもらうことが目的。こちらから外国人が集まっているところに出向いて交通ルール、医療、緊急時（災害）、社会保険、年金制度、労働関係等ニーズに沿って講座を実施する。日本語教室でぜひ活用したい、というような要望があればぜひお声掛けください。

### 虎谷（NICE、親子にほんごひろば、県教育委員会）

大人も子どもも継続して参加している。JLPT 受験のために参加する人もいる。

来日したばかりの新規参加者も数名。

### 静岡県東部の小中学校

訪問校で母国より編入してくる児童生徒への初期支援体制に課題あり。

各市町教育委員会で初期支援体制構築の必要あり。ボランティアが初期支援をしている市町はあるが、始めるまでに時間がかかったり、短期間に集中して実施していなかったりする。

ラオスやネパールからの来日が増えている。

高校進学や就職のために、子どもの在留資格を確認しておくよう学校に伝えている。

日本生まれの乳幼児が増えているので、義務教育に上がる前の幼児教育段階での日本語教育にも力を入れていく必要がある。

## 相田（NICE 沼津にほんご教室）

- ・教室

学習者の数は 20 人程度で安定している。新人ボランティアも継続的に入会しており、研修を行っている。  
若いメンバーは続かない傾向があるが、是非定着して欲しい。

- ・みんな第 3 版対応

第 2 版からの変更点、改訂のポイントなどを説明する会を設けた。

以上